

## 選定基準

## 【選定段階での技術評価】

評価項目	評価の着目点		評 価			
			A	B	C	
参加表明者（企業）	資格・実績等	資格要件	技術部門登録	登録がある (道路部門又は地質部門)	登録がない	—
		配点 (10)		10	選定しない	
	専門技術力	業務実績	同種業務の実績がある	類似業務の実績がある	実績がない	
		配点 (25)		25	15	選定しない
参加表明者（企業） 得点小計			35	満点		
管理技術者	資格・実績等	資格要件	技術者資格等	技術士を有する (総合技術監理部門(建設部門関連科目若しくは応用理学部門関連科目)、建設部門又は応用理学部門)	・RCCM (道路部門又は地質部門) ・土木学会認定土木技術者 (特別上級、上級又は1級)	資格がない
		配点 (20)		20	12	選定しない
	専門技術力	業務実績	同種業務の実績がある	類似業務の実績がある	実績がない	
		配点 (45)		45	27	選定しない
	専任性	専任性	4億円以上又は10件以上の場合は選定しない			
	業務実施体制	業務実施体制の妥当性	下記項目に該当する場合は選定しない ・再委託の内容が主たる部分の場合 ・業務の分担構成が不明確又は不自然な場合			
管理技術者 得点小計			65	満点		
合計得点			100	満点		

## 評価基準

## 【特定段階での技術評価】

評価項目	評価の着目点	評 価			
		A	B	C	
管理技術者	資格要件	技術者資格等 (総合技術監理部門(建設部門関連科目若しくは応用理学部門関連科目)、建設部門又は応用理学部門)	技術士を有する (総合技術監理部門(建設部門関連科目若しくは応用理学部門関連科目)、建設部門又は応用理学部門)	・RCCM (道路部門又は地質部門) ・土木学会認定土木技術者 (特別上級、上級又は1級)	資格がない
		配点 (20)	20	12	特定しない
	専門技術力	業務実績	同種業務の実績がある	類似業務の実績がある	実績がない
		配点 (20)	20	12	特定しない
	CPD	CPDの取得状況について	継続教育の証明があり、かつ各団体が推奨する単位を満たしている	左記以外	—
		配点 (10)	10	0	—
<b>管理技術者 評価点小計</b>		<b>50 満点</b>			
評価項目	評価の着目点	評 価			
		A	B	C	
技術力評価書類【注1】	業務理解度	目的、条件、内容の簡潔さ	簡潔に表現されている	どちらでもない	簡潔さに欠ける
		配点 (20)	20	12	0
	実施手順	実施手順・業務量の把握が適切か	適切である	どちらでもない	適切でない
		配点 (20)	20	12	0
	その他	特に有益な事項の提案があるか	ある	どちらでもない	ない
		配点 (20)	20	12	0
<b>技術力評価書類 得点合計</b>		<b>60 満点</b>			
<b>技術力評価書類 評価点 (技術力評価書類 得点合計の1/3)</b>		<b>20 満点</b>			
現地調査結果【注4】	空洞発見能力【注2】	評価点 = $85 \times (\alpha / \beta)$ $\alpha$ : 自者の二次調査で、存在を確認した空洞の総数 $\beta$ : 全者の二次調査で、存在が確認された空洞の総数	空洞発見能力 評価点 85 満点		
	ヒット率【注3】	評価点 = $45 \times (\alpha / \gamma)$ $\alpha$ : 自者の二次調査で、存在を確認した空洞の総数 $\gamma$ : 自社の一次調査で、空洞と判断した総数	ヒット率 評価点 45 満点		
	<b>現地調査結果 評価点小計</b>		<b>130 満点</b>		
	<b>合計評価点</b>		<b>200 満点</b>		
参考見積	業務コストの妥当性	提示した業務規模と大きくかけ離れている場合又は提案内容に対して見積りが不適切な場合は特定しない。			